

# 生きている尊を訴える

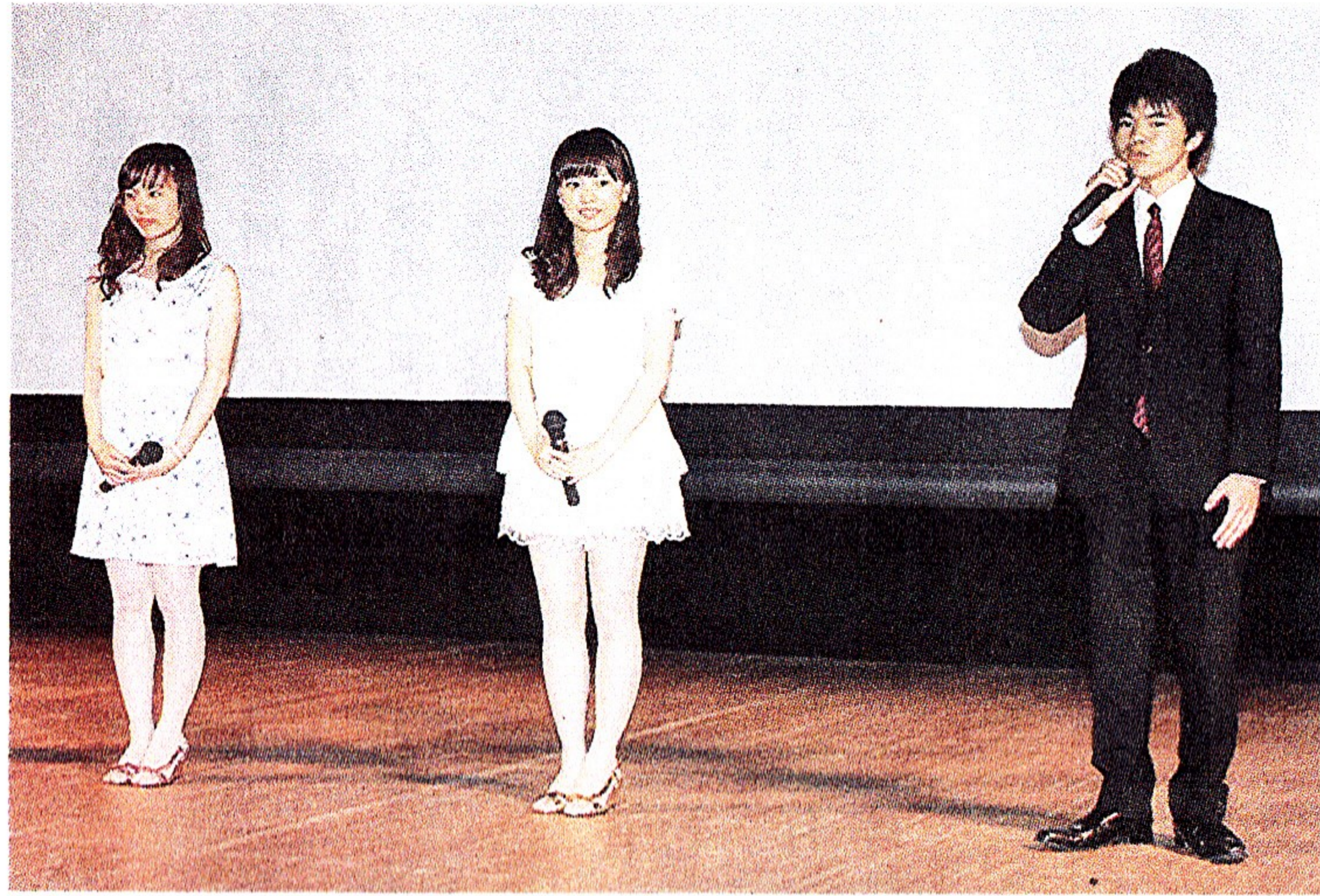
敦賀市出身で日本映画大映画学部三年の山下大裕さん(二〇)川崎市が初監督した自主制作映画「SNOW GIRL」の完成披露上映会が二十六日、同市桜町のきらめきみなと館であった。昼、夜の上映に計約五百人が来場し、敦賀を舞台に生きることの尊さを訴える作品に盛大な拍手を送った。

(増井のぞみ)

「SNOW GIRL」はが羽菜、梨乃さん(二〇)が玲主演の女子高生・玲菜が父 菜を演じた。

親の急な出張で敦賀に住む 二月に東京と敦賀で撮影祖母に預けられ、双子の妹 した六十二分の作品で、黒と名乗る少女・羽菜と出会 河の雪景色や気比の松原、う一冬の不思議な物語。山 気比神宮など敦賀の風景が下さんの敦賀高校時代の同 随所に登場。哀愁を基調に級生で東京に住む女優の双 しながら笑いも交え、孤独子姉妹、縄手麻里さん(二〇) だった玲菜が天真らんまん

## 敦賀舞台に山下さん初監督



①「SNOW GIRL」の舞台あいさつをする(右から)山下大裕さん、縄手梨乃さん、麻里さん ②見せ場となる場面。黒河の雪景色を背景に玲菜役の縄手梨乃さん(左)と羽菜役の麻里さん(右)いずれも敦賀市桜町のきらめきみなと館で

## 自主映画の完成披露上映会

の羽菜と出会い変わっていく。

上映後、山下さんは縄手さん姉妹らと舞台あいさつし「初作品は地元の敦賀で撮りたかった。二〇二〇年までに全都道府県で公開される映画を撮ることが目標です」と語った。

観賞した敦賀市の主婦(六七)は「最初はテレビのホームドラマとは違い違和感があったけど、照明や音楽がよく若さを感じた」。山下さんと高校時代の同級生の大学三年東浦峻太さん(二〇)川崎市は「見慣れた場所が懐かしく、同級生の活躍がうれしい。これからも期待しています」と笑顔で話していた。

